



平成23年10月28日

各 位

会社名 東北電力株式会社  
 代表者名 取締役社長 海輪 誠  
 (コード番号 9506 東証一部・大証一部)  
 問合せ先 経理部長 成田 茂  
 (TEL. 022-225-2111)

平成24年3月期第2四半期(累計)の決算値と前年同期実績の差異  
 および災害に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、「平成23年3月期決算短信」(平成23年5月12日公表)において、平成24年3月期の業績予想を第2四半期(累計)および通期とも未定としておりましたが、本日公表いたしました平成24年3月期第2四半期(累計)の決算値と前年同期実績との間に大幅な差異が生じたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

また、東日本大震災および新潟・福島豪雨に伴う損失について、平成24年3月期第2四半期において特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

1. 平成24年3月期第2四半期(累計)の決算値と前年同期実績の差異(平成23年4月1日～平成23年9月30日)  
 (連結)

|            | 売上高      | 営業利益      | 経常利益      | 四半期純利益    | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
|            | 百万円      | 百万円       | 百万円       | 百万円       | 円 銭             |
| 前年同期実績値(A) | 836,594  | 86,002    | 68,412    | 34,993    | 70.19           |
| 当四半期決算値(B) | 753,848  | △ 54,904  | △ 72,870  | △ 108,289 | △ 217.21        |
| 増減額(B-A)   | △ 82,746 | △ 140,907 | △ 141,283 | △ 143,283 |                 |
| 増減率(%)     | △ 9.9    | —         | —         | —         |                 |

## (個別)

|            | 売上高      | 営業利益      | 経常利益      | 四半期純利益    | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
|            | 百万円      | 百万円       | 百万円       | 百万円       | 円 銭             |
| 前年同期実績値(A) | 768,254  | 79,077    | 61,827    | 30,802    | 61.78           |
| 当四半期決算値(B) | 671,975  | △ 63,518  | △ 79,041  | △ 108,470 | △ 217.57        |
| 増減額(B-A)   | △ 96,278 | △ 142,596 | △ 140,869 | △ 139,273 |                 |
| 増減率(%)     | △ 12.5   | —         | —         | —         |                 |

## 2. 差異の理由について

東日本大震災の影響による電力需要の減少に加え、節電にご協力いただいたことや、猛暑となった昨夏の反動などから、当社の販売電力量が大幅に減少いたしました。また、原子力発電所の停止に伴う火力発電所の焚き増しなどにより燃料費が大幅に増加したこと、更には災害に伴う特別損失を計上したことなどから、売上高、各利益とも前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

## 3. 災害に伴う特別損失の計上について

### (1) 東日本大震災に伴う特別損失の計上

平成23年3月11日発生 of 東日本大震災により、太平洋側の火力発電所を中心に甚大な設備被害が生じたことから、固定資産等の滅失損失（財産偶発損）や被災設備の復旧費用（災害特別損失）について、前期（平成23年3月期）に特別損失を計上しておりました。

今般、その後の調査進展および復旧方針の確定により、新たに見積り可能となった修繕費用等について、下記のとおり特別損失を計上いたしました。

|             | 連 結    | 個 別    |
|-------------|--------|--------|
|             | 百万円    | 百万円    |
| 財 産 偶 発 損   | 38     | —      |
| 災 害 特 別 損 失 | 72,777 | 72,060 |
| 合 計         | 72,815 | 72,060 |

### (2) 新潟・福島豪雨に伴う特別損失の計上

平成23年7月27日から30日にかけて発生した新潟県および福島県会津地方を中心とした集中豪雨に伴って、河川の増出水や設備への浸水、土砂堆積などの影響により、当社の29箇所の水力発電所が停止いたしました。

この災害による固定資産等の滅失損失（財産偶発損）や被災設備の復旧費用（災害特別損失）について、下記のとおり特別損失を計上いたしました。

|             | 連 結    | 個 別    |
|-------------|--------|--------|
|             | 百万円    | 百万円    |
| 財 産 偶 発 損   | 711    | 711    |
| 災 害 特 別 損 失 | 16,964 | 16,964 |
| 合 計         | 17,676 | 17,676 |

なお、設備の被害概要、現在の復旧状況等については、当社ホームページ (<http://www.tohoku-epco.co.jp/>) にて、お知らせしております。

## 4. 今後の見通しについて

当社は、東日本大震災による発電所の被害に加え、新潟・福島豪雨の影響により水力発電所が被害を受けたことから、今冬に向けた供給力確保に最大限の取組みを進めているところであります。

通期の業績予想については、震災後低下した電力需要の回復動向や、原子力発電所の運転再開時期が不透明な状況にあるなど、依然として需給両面での不確定要素が多いことから未定としております。今後、一定の条件が整い、合理的な算定が可能となった段階で速やかにお知らせいたします。